



えんだより



2022年6月
吉野幼稚園

主 題：「育つ」

聖書のことば：「初めに神が天と地を創造した。」（創世記1：1）

コロナ禍の中での大型連休も終わり、幼稚園の保育活動は5月から給食やお弁当が始まり、通常通りとなりました。咲く花の種類も移りゆき、園庭のアジサイも少しずつ咲きはじめました。いよいよ6月です。

登園した子どもたちは、体力づくりのため、まず園庭をランニングします。各自目標を決めて、頑張っています。そのあと、マリア様のご像の前でお祈りをして、各保育室に入ります。そして、各自「おしごと」に取り組めます。ひとりひとりの子どもの発達段階や興味関心に従って、いろいろな「おしごと」があり、子どもたちは大変熱心に取り組んでいます。なかには、同じ「おしごと」を5回も10回も繰り返している子どももいます。それはそれでよいのです。繰り返すことにより、少しずつ見栄えが良くなったり、速くなったり、手際よくなったりします。いわゆる習熟です。幼いころからその感覚を身につけることも大切です。

3歳～5歳の子どもたちは、人間の発達段階の幼児期にあたります。この時期は、心も体も大きく発達する時期で、見違えるような成長を見せる時期です。モンテッソーリ教育は「日常生活」の「おしごと」を通して、自分のことは自分でする習慣を身につけさせることに取り組めます。「三つ子の魂百まで」ということわざもあります。この時期に身につけた日常生活の習慣は、子どものこれからの人格形成の大きな要素となるといっても過言ではありません。あせらず、あわてず、その子なりの成長を見届けたいと思います。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

6月のねらい

- Aグループ ・父の日の感謝の気持ちを持つ。友達と一緒に一つの事に取り組む表現する事を楽しみ、話し合いながら遊びの幅を広げて行く。
- Bグループ ・雨の時期は、室内遊びを工夫して楽しく遊ぶ
- CDグループ ・生活に必要なルールや、道具の安全な使い方、片づけ方を知る
- つぼみ ・簡単な身の回りの事を援助されながら自分でしようとする